

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



健・康・通・信

さくら病院の理念

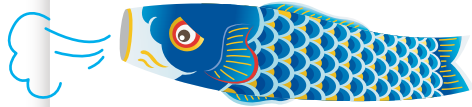
愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 47



院長
江頭 啓介

今年の4月に診療報酬改定が施行され、患者さんの診察時の自己負担額が変わりました。今回の改定では、わが国の高齢化がピークとなる2025年を見据えた医療、介護、予防、生活支援、住まいへの包括的なサービスを提供する為の、地域包括ケアシステム構築への設計図がはっきりと示されました。具体的には、病院に対しては、7対1看護体制の要件厳格化による急性期病床の削減や、急性期後の受け皿となる地域包括ケア病棟、病床の新設など、病床の機能分化と在宅復帰への的確な対処が打ち出されています。一方、診療所には、患者さんがいつでも何でも相談できる主治医としての役割の明確化や、往診など在宅医療への積極的な取り組みが期待されています。診療所、有床診療所、病院それぞれの医療機関が自らの立ち位置を明確にした上で、地域住民に医療機能を提供していく事が求められる、メッセージ性の強い改定でした。今後も、社会保障と税の一体改革の方針のもと、2025年に向けて医療と介護の提供体制が大きく変わることが予測されます。さくら病院は職員一同、この大きな変化の中でも、地域の皆様の安心の生活を支える事を目標に、医療、介護を提供したいと願っております。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。



「五月病」

心療内科医師 村上 修二

春は進学や就職、転勤などで大きく環境が変化する時期です。大きな希望を胸に新しい環境に飛び込んだのに、始めてみたら想像したものとはちょっと違くと、戸惑いをおぼえることもあるかもしれません。環境の変化から1〜2か月経ってささいな戸惑いが少しずつ積み重なってきたときに、夜が眠れなかったり、食欲がなくなったり、体のだるさを自覚したりと体調を崩すときがあります。これが俗にいう五月病です。医学的には適応障害と呼んでいます。性格的には几帳面で責任感の強い真面目な人、自分の気持ちを抑えて我慢してしまう人などがなりやすいとされています。

解決方法としては、悩みを一人で抱え込まずに、周囲の同僚や友人などに打ち明けてみるのは大事です。自分と似たような戸惑いを周囲の友人も感じているかもしれません。また、新しい環境の悪い面ばかりでなく、いい面にも目を向けて、新しい目標を再びみつけるのも大切です。完璧にやろうと力をいれすぎずに、焦らず慣れて

いけば良いと思います。気分転換も大切です。昔から「運動で気分転換」とよく言われていましたが、最近医学的にもランニングなどの有酸素運動はストレスで疲れた脳の神経を活性化する働きがあると言われており、うつ病の予防やさらには認知症の予防にも効果が期待されています。体調に余裕のあるときは運動してみるのとはとても良い方法です。

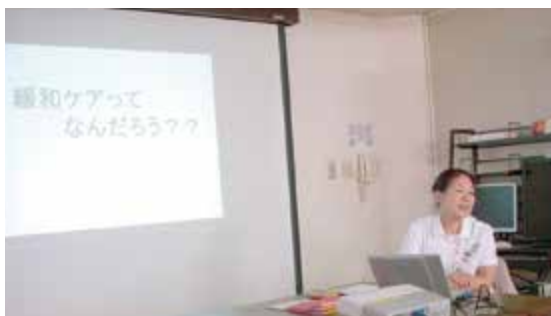
不眠や食欲不振などの症状が続く、会社や学校を休まないといけないときは心療内科や精神科の病院を思い切って受診したほうがいいかもしれません。お薬の投与には心配をされる方もありますが、薬の力をかりて睡眠をしっかりとったり、過剰な心配を和らげることはストレスで疲れた脳のはたらきを改善する効果があります。



第191回 いきいき公開セミナー 「緩和ケアをご存知ですか？」

さくらユニット病棟 看護師 御船 女久美

「緩和ケアをご存知ですか」このテーマで参加者の皆さんとお話ししながら、「緩和ケア」について一緒に考えました。「緩和ケア」とは、身体的苦痛(痛みなど)だけではなく、精神的、社会的、さらに心の問題にも対応します。患者様だけではなく、ご家族のサポートも合わせて行っています。ご自分や、ご家族が辛い状態に陥ったとき、どのように対応したいのか…。皆さんも一度「緩和ケア」について考えてみませんか？



第192回 いきいき公開セミナー 「楽しくできる転倒予防」 ～二重課題法によるトレーニング～

理学療法士 富永 康一郎

今回は転倒予防のトレーニングとして二重課題法をご紹介します。

日常生活では、「テレビを見ながら家の中を移動する」、「買うものを考えながら歩く」など、何かを考えながら行動することが多いものです。これを2つの課題『考える』+『動く』を同時にしているという意味から二重課題と言います。

年齢を重ねると、筋力やバランス機能が低下するのと同じように、二重課題を行う能力も低下し、そのことが転倒の原因の1つになると考えられています。また、二重課題のトレーニングを一定期間継続して行うことで、転倒しにくくなることが分かってきました。二重課題のトレーニングは、頭と体を同時に鍛え、安全に楽しくできる運動です。

お近くで、二重課題を使った転倒予防教室の案内を見つけたら、積極的に参加してみたいかがでしょうか。



当院での感染予防対策への取り組み

感染管理責任者 藤崎 浩二

病院にはいろいろな感染症の患者さんが病棟に入院し、一方で免疫力の低下した患者さんも多く入院しておられます。入院によって、新たに感染症をもらうことは本来の必要な治療以外の治療が必要になってしまい、患者さんには大変な不利益をもたらします。また、院内感染予防対策は単に感染症対策だけではなく、病院内における患者さんと職員を守る医療安全対策とも深く関連しています。患者さんと職員を院内感染から守るため、当院では以下のような活動を行っています。

1. 院内感染ラウンド

各部署、全職種から選出された職員により感染対策チームを結成しています。この感染対策チームにより定期的に院内を巡視し、問題点を把握・調査し対応を行っています。

2. 職員への啓もう、教育

感染予防のため、院内感染予防対策ニュースの発行や年2回の全体研修会を開催しています。

3. 感染症サーベイランス

特定の感染症発症状況などの把握に努め、院内レポートを発行し全体で情報を共有出来るようにしています。

4. 感染対策委員会

上記活動に加えて、各部署、全職種から選出された職

員により、あらゆる感染予防策に対する協議を毎月1回行っています。

5. 感染対策手順

定期的に改訂を行い、院内感染予防対策の基盤としています。

しかしながら、以上のような活動を行っていても、重症な患者さん、侵襲性の高い処置、多忙な現場、そして多くの人と物が出入りする病院では、職員だけで100%の感染予防対策を行うことは決して簡単なことではありません。患者さん・ご家族そして職員が一緒になって感染予防対策をすることで、初めて限りなく100%に近づくことが出来ます。さて、誰にでも簡単に出来る感染予防対策とは?! そうです!「手洗い!!」です。

最後になりましたが、これからも皆さんが安心出来る病院を目指し感染予防対策を推進してまいりたいと思います。

手洗いは、
あなたを、患者さんを、
感染症から守ります。
手を洗いましょう!!



リスク委員会活動報告

私達リスク委員は病院の危険防止対策のチームです。患者様が安全安楽に過ごせるように問題を検討し、間違いを減らし、適切に対応出来るように活動しています。

今年度リスク委員会では「人工呼吸器使用に関する安全管理」について、取り組みを行いました。

人工呼吸器とは、さまざまな理由で呼吸が停止、または低下した患者様に、機械で呼吸を補助するものです。実際に人工呼吸器を使用する時は、医師が患者様に合わせた人工呼吸の方法を指示します。息の大きさ、呼吸回数、酸素濃度などの細かい運転条件を機械に設定します。また、人工呼吸を行っている患者様に対しては、痰の吸引、体位変換、機器の点検なども大切な仕事になります。

そこで、現在の人工呼吸器の管理の状況を調査し、問題点を抽出しました。より安全に人工呼吸器の使用が出来るように、院内で統一した人工呼吸器のチェックリスト、手順書の作成を行いました。また、スタッフの人工呼吸器への知識を深めるため、院内での勉強会を開催しました。

人工呼吸器使用中は、人工呼吸器があるので、呼吸が停止することはありません。しかし、人工呼吸器にトラブルが生じ、動かなくなったら、死に直結してしまいます。

今年度の人工呼吸器の安全管理の取り組みにより、より安全に人工呼吸器を使用することができるようになりました。

これからも患者様が安心して、安全に過ごしていけるように、活動を続けて参ります。

チェックリストに沿って
確認、点検しています!



人工呼吸器

医療サービスの基本方針

医療法人社団 江頭会 さくら病院は、「人を大切にすること」を基本理念として、良質の医療・介護サービスの提供と働きやすい職場づくりを行ってまいります。

そのために職員の人間性、知識、技術を向上させます。また、職員それぞれの能力を基盤とした組織づくりを継続的にを行います。そのため以下の4点を推進いたします。

1. 患者、患者家族、地域住民の方々などの期待に応え、またその期待を超えるような医療・介護サービスを提供し、これを常に改善していきます。
2. 他の医療機関・介護施設との連携を行い、さくら病院の持つ医療・介護機能を地域の為に役立て、切れ目のない医療・介護サービスを実現します。
3. 地域包括ケアシステムの中核となる、地域に根ざした内科主体の病院として、地域住民のための疾病治療・疾病予防・健康増進活動を推進します。
4. 法令・規制要求事項などを的確に把握し、遵守します。

2014年3月25日 医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長 江頭 啓介

病院の診療指針

- 1、一期一会を大切に
- 2、友愛ともにいたわりともに励ます
- 3、医療は信頼から
- 4、多忙な中にも対話を忘れずに
- 5、医療サービスは深い思いやりをもって
- 6、慢心は敵、安全医療に徹する
- 7、快適な職場づくりは
ひとりひとりの心掛けから
- 8、救急協力は無償の愛をもって
- 9、向上心をもって医療に取り組む

看護サービスの基本理念

- 1、患者様との触れ合いを大切にし、安全で思いやりのあるケアを行う。
- 2、医師及び他部門と協働し、働きやすい職場づくりを行う。
- 3、看護・介護の質の向上をめざし、自己研鑽を重ねる。
- 4、地域・医療・福祉との連携を図り、継続したケアが提供出来るよう取り組む。
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で業務改善を行う。

さくら病院の患者権利7カ条

- 1、だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 2、だれもが、一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
- 3、病気、検査、治療、見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受け、治療方法を自分の意思で選ぶ権利があります。
- 4、地域・医療・福祉との連携を図り、継続したケアが提供出来るよう取り組む。
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で業務改善を行う。

さくら病院の職員は、患者様とのコミュニケーションを大切に、患者様の理解を助け、納得が得られるように努めています。また、治療方法の選択については患者様の意思を尊重いたします。なお、別の

医師の意見（セカンドオピニオン）をお聞きになりたいという御希望も尊重いたします。

4、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

患者様とさくら病院は診療情報を共有しつつ、共同作業者として治療を進めてまいります。

5、診療の過程で得られた個人情報、秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

さくら病院は、個人情報、秘密の保持や私生活をみだりにさらされないようにという患者様のプライバシーの権利について、厳正に取り扱ってまいります。

6、納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する権利があり、同時に治療の指示を守る義務があります。

患者様が、治療等に関する十分な説明や情報提供により納得のいく医療を受けていただくために、そして治療法等を自分の意思で選択していただくためにも、分からないことがあれば何度でもさくら病院職員に質問して下さるようお願いいたします。

7、すべての患者様が適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように配慮する義務があります。

病院では、職員が数多くの患者様に様々な医療を提供しています。そのため、患者様は通常の社会生活にはない制約を受けるを得ないこともあります。このことを十分御理解していただき、適切な医療の提供に御協力くださるようお願いいたします。

福岡市救急病院協会 海外視察研修を終えて

さくら病院：吉田香代子・樋口京子



2月7日から6日間ハワイ・ホノルル研修に参加しました。さくら病院から2名、救急病院に関わる色々な職種総勢25名での研修になりました。

視察したクアキニ病院は、1900年に日本人労働

者を救済する目的で設立されましたが、現在は地域の診療所などと連携し急性期医療を行っています。緊急救命室では、看護師は全て救急救命士の資格を有しておりベッド周囲の配置も全て同じに整備され環境面からも救命に対する1秒の重みを感じました。

また、ハワイ大学では、町 淳二先生にアメリカと日本の医療制度の違いについて授業を受けました。日本では医師・看護師は国家資格を有すると特別の事がない限りその資格は一生ですがアメリカは定期的にチェックが行われ、知識・技術もレベルアップしている。このままの制度では日本の医療は鎖国

時代を迎えるというお話はショックを受けました。

自由行動では、女性群はビッグアイランドとして知られるハワイ島周遊観光に参加し有名なキラウエア火山の荒涼とした姿や大自然が作り出した雄大な景色を満喫しました。男性軍はダイヤモンドヘッドまでの散策や海底散歩でホノルルの自然を満喫できました。

ハワイでは50代からシニアと位置付けるそうです。年齢で区切ることも差別の対象という考えで働ける間はみんな現役。シニア世代がみなさん元気でした。レストランのスタッフから大型バスの運転手、ツアーのガイドさんまで日本ならとくに定年を終えた方々が笑顔で元気に活躍されておりシニア世代の私たちはとても元気を頂きました。大自然と人々の笑顔、アロハスピリッツを満喫し、とても充実した視察研修でした。



平成25年度 さくら病院活動報告

H25年 4月	新人オリエンテーション(前期)
5月	H25年度1回目 ボランティア・スタッフ学びと交流のつどい
6月	第15回さくらフォーラム 消防避難訓練(前期)
7月	2内科 セタ会
8月	第14回さくらグループ業務改善コンテスト H25年度1回目 医療安全管理研修開催
9月	ISO外部審査受審
10月	H25年度2回目 ボランティア・スタッフ学びと交流のつどい 新人オリエンテーション(後期)
11月	H25年度2回目 医療安全管理研修開催 地域モニター会
12月	病院機能評価 機能種別版V1 受審 消防避難訓練(後期)
H26年1月	城南保健所立ち入り検査
2月	さくら病院新年会
3月	病院機能評価 機能種別版V1 認定取得 H25年度3回目 ボランティア・スタッフ学びと交流のつどい 2内科 ひなまつり会 H25年度3回目 医療安全管理研修開催

平成25年度入職者一覧

平成25年 4月	8月	平成26年 1月
福永 桂子	山本 智子	三角 恵美
吉岡 優子	成富 妙子	2月
伊藤 典洋	溝口 裕之	大橋 雪英
吉田 さち代	9月	平野 公博
水城 須美子	濱口 真澄	3月
本田 麻希	10月	富永 里香
古賀 望	末廣 奈歩	橋迫 千佳
有馬 綾華	松山 智子	豊島 万奈美
児玉 美里	11月	武石 政信
岩口 理美	末次 恵律香	
宮崎 雅代	12月	
6月	山本 雪詠	
長本 晴香	川上 友紀	
7月		
竹下 知子		
高城 舞衣子		

部署
紹介

臨床検査科

当院検査科は現在、3名のスタッフで日々の業務に取り組んでいます。検査は検体検査、生理検査を行っています。

検体検査は患者様から採血などで実際採取したもの（血液、尿、喀痰）などを、分析します。検体検査は外注が多く、医師会検査センターに依頼しています。

院内でも血液の自動分析を行っていますので、緊急の場合に対応しています。

生理検査は主に心電図検査、脈波図検査、肺機能検査、聴力検査などを行っています。

心電図検査が最も指示が多く、心臓病の発見や診断、病状の把握、治療効果の確認などに欠かせない検査になります。

脈波図検査は動脈硬化の程度や血管の詰まり具合が数値としてわかるので、血管障害の診断には有用になります。

また肺機能検査も重要で、近年増加傾向にあるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の診断にたいへん有用な検査になります。

検査の際は患者様に検査説明をしっかりと行い、緊張をやわらげるように配慮しています。

少人数の部署のため、スタッフ間はもちろん、ドクター、看護師との連携をしっかりととりながら、一人でも多くの患者さんに質のよい医療を提供できるように今後もスタッフ一同、取り組んで行きたいと思います。



訪問リハビリテーションを ご存知ですか!?

さくら病院では、病気やけが等によりお身体が不自由で外出が難しい方に対し、専門の職員（理学療法士等）がご自宅にお伺いしてリハビリテーションを行っています！



- ◎医療保険・介護保険双方のご利用が可能です。
- ◎さくら病院がかかりつけ医でない方にもご利用いただいておりますので、お気軽にご相談ください！

窓口：医療連携相談室（病院内C棟1階）
TEL: (092) 801-7386
FAX: (092) 864-1213

住み慣れた地域のご自宅で、心身ともに
より良い状態で生き活きと過ごせるよう、
専門的な立場からサポートさせていただきます！

福祉用具や住宅環境等のアドバイスも
させていただきます！

お一人お一人の状態にあわせて
体のコンディションを整え、
一緒に運動や動作の練習を行います！

消防避難訓練

事務課主任 光武 竜英



昨年11月15日に城南消防署の立会いのもと、消防訓練を行いました。

訓練の内容は、消火・通報及び避難誘導を連携して行う総合訓練と消火活動に使用する屋内消火栓・消火器の取扱い訓練です。

年に2回防災訓練を行うことは法令で定められていますので、当院の消防計画に基づいて今回は3階の病棟を出火場所と決めて夜間を想定して訓練を行いました。

夜間帯に出火した場合、昼間に比べ職員の人数が少ない中で、通報・初期消火・避難誘導を迅速に行わなければなりません。スタッフは、夜勤者・患者役に分かれ、緊張した面持ちで訓練に参加していました。日頃から自部署でそれぞれ設備・避難通路等の教育も行われているおかげで、避難誘導までの時間も短く院内放送と消防署への通報も手間取ることなくスムーズに行え

ました。

ただあまりに予習をしすぎたのか、サイレンが鳴った瞬間に、まだ知らされていないはずの火元へ真っ先に駆けつけるスタッフの姿も。そんなハプニングもありましたが、今後も非常時に慌てずしっかり対応できるように反復して訓練に励んでいきたいと思います。



2内科

ひな祭り会

今年は3月3日、ひな祭り当日に開催することが出来ました。ちらし寿司に大きな蛤の入ったお吸い物。「綺麗だ、美味しいね、お吸い物いい味ね」とお昼の行事食での会話をしながら召しあがって、午後からのひな祭りを楽しみにされていました。

ひな祭り会場に2内科以外の1内科3内科ユニットからの患者様をお迎えし看護部長の言葉で開始、♪きよしのズンドコ節♪で「きよし!」と掛け声が出ました。1内科伊藤ナースの描いた木に全員で花を1個ずつつけて満開に咲いた木になりました。ゴスペル部のりんごを手に♪りんごの唄♪桃の花をやさしく振りながら♪ひな祭り♪歌を一緒に口ずさまれる方、うっとり聞かれる方、お菓子を食べることを忘れておられました。

リハビリさんも参加して皆さん全員で手、足の運動、食事前にすると良い顔の体操では周りの人の顔を見て大笑い。

2内科スタッフの出し物、山本リンダの♪狙いうち♪スタッフの山本リンダになりきった衣装とダンスの迫力にびっくりの

ようでしたがニコニコ、ニヤニヤしながら手拍子と大拍手。アンコールに応え息切れしつつ、かつらのずれを直しながら会場が狭い中で迫力のダンスに大喝采でした。

短い時間でしたが、皆さん「良かった、楽しかった」と笑顔で自室に戻って行かれました。日頃見ることのない表情や歌声を聞き、嬉しくなりました。

その後も沢山のお褒めの言葉を頂き、スタッフ皆、次回に向かって頑張りたいと思いました。



こんにちは!

医療連携相談室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

医療連携相談室では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただいています。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

医療連携相談室

TEL 092-801-7386 (事務課)

FAX 092-864-1213

担当者 医療連携相談室長

楠原 浩之

医療ソーシャルワーカー

小川 美和・松山 章子・橋迫 千佳



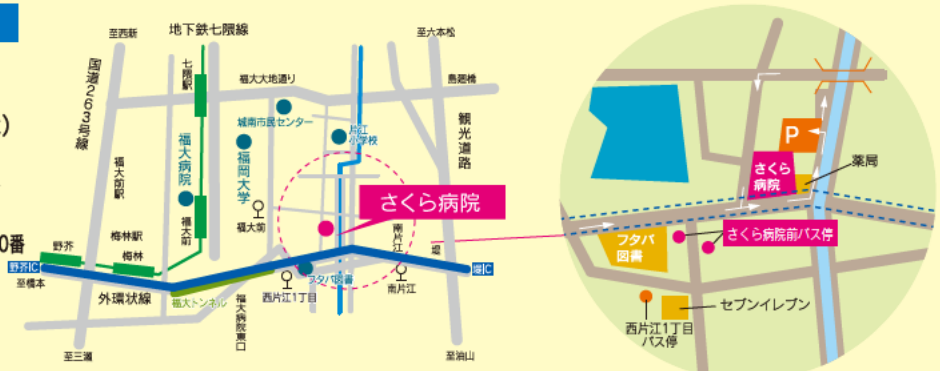
相談受付 平 日:午前9:00~午後5:00
土曜日:午前9:00~午後12:30

外 来 診 察 表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	堀端 内科/消化器科	村上 内科/心療内科	天野 内科/胃腸科	天野 内科/胃腸科	古屋 内科/消化器科	井手 内科/糖尿病外科
	第5診察室		熊谷 循環器内科	岩崎 リハビリ・整形外科			
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	秋満 内科/循環器	西本 内科/胃腸科	内藤 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/緩和ケア	秋満 内科/循環器	
	第3診察室	村上 内科/心療内科	知念 内科/胃腸科	佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	知念 内科/胃腸科	
	第5診察室	古屋 内科/消化器科				中園/江藤 内科/心療内科	
専門外来(予約制)	午前		村上 心療内科	熊谷 循環器	岩崎 リハビリ外来	渡辺 呼吸器内科外来	井手 糖尿病外科
	午後	村上 心療内科		内藤 佐々木(靖) 血液・腫瘍外来 循環器外来	楠原 早田 緩和ケア外来 肝臓外来	安部 中園/江藤 脳神経外科 心療内科	

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)
- バス(西鉄バス西片江1丁目バス停下車)
西鉄バス系統番号
(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番
(西新・飯倉方面より) 95番
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番
(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61,64,95番
- 車(病院裏手に専用駐車場があります)
天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院 在宅医療介護センターさくら
社会福祉法人 桜花会 ライフケア大手門
社会福祉法人 桜花会 特別養護老人ホーム ライフケアしかた
社会福祉法人 桜花会 ライフケア柏原
高齢者安心ハウス あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15

TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/> (3月ホームページを更新いたしました)

直通TEL

1内科 092-872-5611
事務所 092-801-7386 2内科 092-872-5612
ユニット 092-872-5615 3内科 092-872-5613